

CSV報告書 2020

KEIWA Incorporated CSV REPORT 2020





目次

1 トップメッセージ

2 会社概要

経営理念／経営ビジョン／恵和バリュー／恵和のコア・コンピタンス／経営戦略／会社沿革

3 恵和の現状把握

重要テーマの特定

4 CSV目標

持続可能な開発目標(SDGs)への貢献／7つの重要テーマへの取組み

5 組織力向上

AKI活動

6 目標達成に向けた支援

教育支援体制

7 CSV活動

新しい価値の創造／高品質の提供／環境汚染防止・環境負荷低減／
労働安全衛生／地域貢献活動／ガバナンス

8 実績評価

内部監査(マネジメントシステム監査)





1 トップメッセージ

自然と社会の共通価値を
「高品質の提供」を通じて実現するCSVグループを
目指してまいります。

顧客志向に始まる高品質の追究

恵和株式会社は1948年の創業ですから、2年後の2023年には創立75周年を迎えることとなります。Sheeting(製膜)、Laminating(積層)、Coating(塗布)というフィルムの成型加工技術を培って参りましたが、精密製品、光学製品等の事業拡大と共に、これらにUP(Ultra-Precision)を加え、差別化を実現するコア技術として“S・L・C×UP”と紹介させていただいております。

この“S・L・C×UP”を活用し、第一に、光学分野に展開しているオパルス事業と、第二に、鉄鋼包装や農業資材を提供している機能製品、第三に、燃料電池用フィルムや「地球の絆創膏」・キョージン等を始動中の開発事業、という三つの事業分野に事業領域を持っています。

私どもは徹底的な顧客志向を掲げるミッション経営と、破壊型・持続型の二つのイノベーションを促進する企業文化を特徴としております。そして「品質は競争力である」という行動指針のもとで高品質を貫くことにより、各々の市場における独自セグメントでのトップの地位を築いております。





1 トップメッセージ

恵和の企業活動は、それ自体が社会貢献

当社の社名は、自然と社会の恩恵の“恵”と、社員が和して一丸となるの“和”を合わせたものであります。経営理念は「自然と産業の調和を創造する」であります。この経営理念に沿うべく、省エネルギーや自然保護志向を持たせた事業展開を行っています。SDGsへの取組が昨今世界的に拡まっていますが、当社の場合は創業以来、常に現状に甘んじることなく新事業を展開してきましたけれども、その方向はSDGsと一致しているのです。

(※ 図表『恵和の歴代主要製品と社会貢献の例』参照)

思い起してみますと、創業時から供給してまいりました各種包装資材は、貴重な製品や資源を外部からの衝撃や湿度などから保護し、有効利用することに貢献してきました。さらに、その製法や素材についても、「ターポリン紙」という初期の防湿包装紙の防湿剤として使用していたブローンアスファルトを、プラスチックの副生産物であったアタクチックポリマーに大変更した「ポリプルーフ紙」を独自開発。さらにポリエチレン樹脂の薄膜を被覆し、紙の使用量を半減した「ポリラミ紙」へと発展させました。そして再生紙原料としてリサイクル可能な防湿コート紙「トケバリア」へと進化させるなど、常に社会が必要とする機能を、少しでも環境負荷が少なくなる形で実現してきました。

それ以外にも、農業用資材の「オーケータニシート」や反射シートの「サニーシリーズ」など、太陽光を有効利用することで農作物の収穫量や品質向上に貢献したり、建材用の反り防止材や断熱材でドアや内装の変形を防いだり冷暖房効率の向上に寄与してきました。さらには、太陽電池用バックシート「アプリソーラ」を開発して太陽光発電パネルの耐久性アップや普及拡大に貢献したり、液晶ディスプレイの草創期から現在に至るまで、光拡散フィルム「オパルス」によって「画面をムラなく・明るく」することで、省エネルギー化に貢献し続けています。そして現在も様々な高機能フィルムを開発し、クリーンエネルギーの普及拡大や医療分野での課題解決、インフラ老朽化への対応と要員不足の解消など、社会が直面している重要な問題の解決につながる製品の提供を目指して走り続けています。

このように、恵和の「過去・現在・未来」にわたる事業の歴史はSDGsの17目標や169ターゲットに合致するものばかりであることがわかります。ここから見てくるのは、当社が経営理念に基づいて行ってきた企業活動は、社会に貢献をもたらすものであった、という事実であります。





1 トップメッセージ

CSV活動を通じて成長し、地域社会の問題解決に貢献する

企業がその活動を通じて世の中が良くなることに貢献しているのか？お金を稼ぎながら、その利益の一部で寄付や慈善活動を実行しているのか？これからの世の中は、一人ひとりの意識が高まり、真價を見抜く目を持った多くの方たちが関心を持って企業を見つめる時代になることでしょうか。そしてこの趨勢は私どもにとって大きなチャンスであります。

この報告書は、いわゆる「CSR報告書」や「統合報告書」に類するものとして、当社が初めて発信するものです。なにぶん初めての試みですので、見識の高いステークホルダー各位、投資家各位にとっては物足りない面もあるかもしれませんが、当社はこれをスタートラインとして、社内に対してはより誇りをもって職務に精励できるよう、社外に対しては当社へのご理解をより深めていただき、一人でも多くファンになっていただけるよう、当社の事業と社会貢献のあり方を発信し続けながら、事業活動をさらにブラッシュアップしていく所存ですので、厳しくも暖かい叱咤激励を賜りましたら幸甚でございます。

当社はこれまでも、そしてこれからも、地域社会からのバックアップをいただきながら、同時に地域社会に恩返しをしながら、常にドメイン(事業領域)を見直すことを基調として成長を続けます。そうすることで、社会が求める諸問題の解決に“S・L・C×UP”で貢献してまいります。

—————このやり方を、CSVと云うそうであります。

恵和株式会社
代表取締役社長

長村 恵弼





1 トップメッセージ

『恵和の歴代主要製品と社会貢献の例①』

	恵和の製品	用途・機能	社会への貢献	SDGs指針(17)	SDGsターゲット(169)	
過去	防湿包装紙 「ターポリン紙」	内容物の保護、防湿	<ul style="list-style-type: none"> ・ロス低減 (長期保管、金属の錆防止、長距離輸送対応) + 低環境負荷原料への変更 + 包装材自体の再資源化 	<p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする</p>	11.6: 2030年までに、大気、水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。	
	防湿包装紙 「ポリブルーフ紙」			<p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>		12.2: 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
	防湿包装紙 「ポリラミ紙」			<p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする</p>	<p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>	12.5: 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	再生可能防湿包装紙 「トケバリア®」					<p>2. 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p>
現在	気化性防錆包装紙 「K-ライト™」	金属製品の保護、防湿、錆防止				
	農業資材 「オーケータニ®シート」	ハウス雨樋の透明化(作物への日陰低減) 交換負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物の収穫量向上 ・農作物の品質向上 ・農業従事者の労力低減 			
	農業資材 「サニーシリーズ」	日光を反射させ果樹の発色促進				
未来	建材用反り防止紙 「ソリボ」	内装建材の反り防止	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量な中空内装材の変形・劣化を防ぐ 	<p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする</p>	11.6: 2030年までに、大気、水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。	
				<p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>		12.2: 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
					12.5: 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	





1 トップメッセージ

『恵和の歴代主要製品と社会貢献の例②』

	恵和の製品	用途・機能	社会への貢献	SDGs指針(17)	SDGsターゲット(169)
現在 ↓ 未来	ウレタン・カーボン等の 工程紙 「A!prog®シリーズ」	ウレタンフィルム、発泡ウレタン、カーボンプリプレグ等の中間製品製造時の材料ロス削減、品位向上等	<ul style="list-style-type: none"> ・ロス低減 ・衣料用ウレタン被膜製造への貢献により、快適な防水透湿衣料の普及促進 ・炭素繊維の普及促進による風力発電の普及、輸送機器軽量化による燃費向上 	11. 住み続けられるまちづくりを都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする	11.6:2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
				12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する	12.2:2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
					12.5:2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	太陽電池バックシート 「Appli-Sola®」	太陽電池の耐候性・耐久性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギーの普及促進 ・低環境負荷原料の使用 	7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	7.1:2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。 7.2:2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 7.3:2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
				11. 住み続けられるまちづくりを都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする	11.6:2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
				12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する	12.2:2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。 12.5:2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	13.1:全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)及び適応の能力を強化する。			





1 トップメッセージ

『恵和の歴代主要製品と社会貢献の例③』

	恵和の製品	用途・機能	社会への貢献	SDGs指針(17)	SDGsターゲット(169)
現在 ↓ 未来	光拡散フィルム 「オバルス®」 複合拡散板 「オバスキ®」	液晶ディスプレイ光源の拡散性・輝度向上 高い信頼性・耐久性 直下型ミニLED液晶の小型・軽量化	・光源の削減・低出力化による省エネ ・車載ディスプレイ拡充による自動車のAI化促進 ・ノートPC・タブレットの高精細化によるリモートワーク・リモートラーニング環境高度化	 3. すべての人に健康と福祉をあらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	3.6:2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
				 4. 質の高い教育をみんなにすべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	4.1:2030年までに、全ての子どもが男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。
				 5. ジェンダー平等を実現しようジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	5.b:女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
	燃料電池用高機能フィルム	燃料電池スタックに使用される特殊フィルム	・クリーンエネルギー自動車の普及促進	 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンにすべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	7.1:2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。 7.2:2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 7.3:2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
				 13. 気候変動に具体的な対策を気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	13.1:全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)及び適応の能力を強化する。
				 11. 住み続けられるまちづくりを都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする	11.5:2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。
コンクリート保護シート 「KYŌZIN™」	コンクリート表面の保護・劣化防止	・コンクリート保護作業の簡易化・工数削減により、インフラ等の補修工期の短縮、熟練作業員の所要数を削減	 13. 気候変動に具体的な対策を気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	11.b:2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ(レジリエンス)を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。	
			 13. 気候変動に具体的な対策を気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	13.1:全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)及び適応の能力を強化する。	





2 会社概要

経営理念

自然と産業の調和を創造する
Creation of the Harmony
between Nature and Industry

人や自然に優しい製品やサービスを提供することで
社会に貢献するグループを目指しています

経営ビジョン

自然と社会の共通価値を
「高品質の提供」を通じて実現するCSV※グループを目指す

※CSV:Creating Shared Value



恵和バリュー

- | | |
|-------------|---------------|
| ① 社会貢献・自然貢献 | ④ 品質は競争力 |
| ② イノベーション | ⑤ 社員の幸福と自己啓発 |
| ③ 顧客からの信頼 | ⑥ ステークホルダーの満足 |

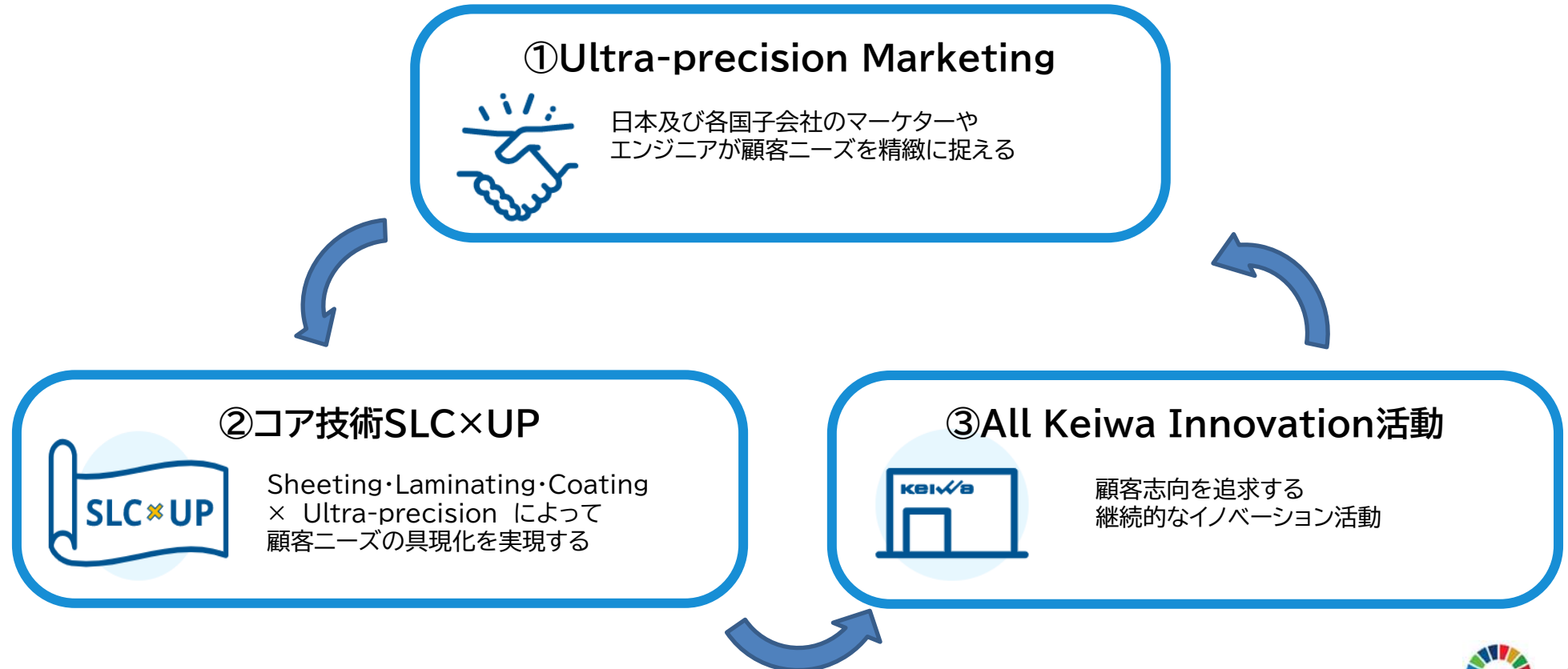




2 会社概要

恵和のコア・コンピタンス

- 顧客ニーズを精緻に捉え、SLC技術で具現化
- イノベーションを実現する社内体制で顧客満足を追う





2 会社概要

経営ビジョン

自然と社会の共通価値を「高品質の提供」を通じて実現する
CSVグループを目指す



経営戦略

- ① 新規事業創出の推進
クリーンエネルギー資材、インフラ関連資材、複合拡散板
- ② プレシジョンマーケティングとプレシジョン生産によりグローバルニッチを目指す
- ③ イノベーションを追求するAKI活動の推進
- ④ CSVの推進及び経営基盤の強化(安全・品質・セキュリティ・インフラ)
- ⑤ コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンスの強化





2 会社概要

社名	恵和株式会社(KEIWA Incorporated)
設立	1948(昭和23)年9月28日
代表者	代表取締役社長 長村 恵式
本社	東京都中央区日本橋茅場町2丁目10番5号
資本金	1,700,880千円(2020年12月末現在)
連結業績	<ul style="list-style-type: none"> ●売上高:14,735百万円 ●経常利益: 996百万円 (2020年12月期)
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ●連結:482人 ●単体:364人
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●光学シート事業 ●機能製品事業
グループ会社 (連結子会社)	海外4社〔 <ul style="list-style-type: none"> ●製造販売会社 1社(中国) ●販売会社 3社(台湾、韓国、アメリカ) 〕





2

会社概要

沿革

1948年/S23	長村秀太郎が神戸市に恵和商工株式会社設立
1966年/S41	東京営業所開設（現本社）
1967年/S42	滋賀工場建設（現滋賀アドバンステクノセンター）
1968年/S43	小倉工場建設（現K-Site）
1970年/S45	千葉工場建設（現T-Site）
1973年/S48	大阪市東淀川区に本社ビル建設
1990年/H2	長村秀太郎が会長に、長村恵氏が社長に就任
1992年/H4	創業者 長村秀太郎 没
1993年/H5	アタックテクノセンター I 建設（現和歌山テクノセンター I）
1998年/H10	アタックテクノセンター（現 和歌山テクノセンター）において、「ISO 9001」認証取得
1999年/H11	社名を恵和株式会社に変更
2001年/H13	台湾に現地法人「台湾恵和股份有限公司」設立
2003年/H15	中国に蘇州駐在事務所を開設
2004年/H16	アタックテクノセンター II 建設（現和歌山テクノセンター II）
2005年/H17	アタックテクノセンター（現 和歌山テクノセンター）において、「ISO 14001」認証取得
2006年/H18	中国に深圳事務所開設 中国に現地法人「恵和光電材料（南京）有限公司」設立

2007年/H19	「Appli-Sola®」販売開始
	韓国に現地法人「ソウル恵和光電株式会社」設立
2008年/H20	滋賀工場（現 滋賀ATセンター）において、「ISO 9001」認証取得
2009年/H21	滋賀工場（現 滋賀ATセンター）において、「ISO 14001」認証取得
	アタックテクノセンター III 建設（現和歌山テクノセンター III）
2010年/H22	中国に寧波事務所を開設
2012年/H24	中国現地法人深圳事務所を東莞事務所に移転
	組織力を高めることにより顧客満足度向上を図り、会社の体質改善、発展に寄与することを目的としてAKI(All Keiwa Innovation)活動を開始
2013年/H25	米国に現地法人設立
2015年/H27	中国に北京事務所を開設 米国カリフォルニア州シリコンバレーに事務所開設
2016年/H28	本社を東京都中央区日本橋茅場町へ移転 大阪本社を大阪市中央区瓦町へ移転
2019年/R1	東京証券取引所 市場第二部へ上場
2020年/R2	Apple inc. のサプライヤー・クリーンエネルギープログラムの取組みに参加
	和歌山テクノセンター II において、「IATF 16949」認証取得
	東京証券取引所 市場第一部に指定





3 恵和の現状把握

重要テーマの特定

恵和株式会社は、多様なステークホルダーの皆さまと価値を分かち合えるように、重要テーマを特定しています。取組みにあたって、国際規格であるISO 26000・GRIスタンダードを参考にしています。

左記により整理した重要課題の候補を基に、ステークホルダーと恵和の重要度が共に高い項目について、経営ビジョン・恵和バリューとの関連性を考慮して、**7項目**について重要課題に特定しました。

高
ステークホルダーの重要度

	環境汚染防止 環境負荷低減 地域コミュニティ	新しい価値の創造 安定供給、安定調達 高品質の提供 ガバナンス
		労働安全衛生
働き方改革への対応		人材教育 ダイバーシティの推進

恵和の重要度

高

特定した重要テーマ

- ① 新しい価値の創造
- ② 高品質の提供
- ③ 環境汚染防止、環境負荷低減
- ④ 地域コミュニティ
- ⑤ 安定供給、安定調達
- ⑥ 労働安全衛生
- ⑦ ガバナンス





4 CSV目標

持続可能な開発目標(SDGs)への貢献

2015年の国連サミットにおいて採択されたSDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)は、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成され、「誰も取り残さない」世界の実現を目指した、地球上のすべての人を対象とした共通目標です。

恵和が描く未来の社会とは、持続可能な社会、つまりSDGsが達成された豊かな社会です。社会と深く関わる企業の責任を果たしていくため、企業活動のあらゆる側面で、SDGsを「より良い社会づくりのものさし」として活用し、新たな価値を提供していきます。

恵和は、製品・サービスを通じた「価値創造」と、バリューチェーンにおける「価値創造を支える基盤」を通じてSDGsの達成に主体的に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





4 CSV目標

7つの重要テーマ	具体的な取組み	関連するSDGs
① 新しい価値の創造	AKI活動 光拡散フィルム『オパルス®』の開発 コンクリート表面保護シート『KYÖZIN™』の開発 クリーンエネルギー関連資材の開発 医療器具製造用工程フィルム 精微なお客様対応 無駄なく正確で早い開発	       
② 高品質の提供	高品質を作り出す生産設備とプロ集団 (IATF16949、ISO9001の運用) 充実した検査設備・分析機器 顧客の要求する品質レベルの把握 徹底した高品質を可能にする内部監査実施	  
③ 環境汚染防止 環境負荷低減	グリーン調達 産廃の削減、リサイクル推進(ISO14001の運用) 再生可能エネルギーの転換 クリーンルームや設備の省電力化(設備更新や効率化など)	     
④ 地域コミュニティ	職業体験、工場見学 災害対策(BCP)	  
⑤ 安定供給、安定調達	人員減に対応出来るよう製造や業務の自動化を進める 最適な生産体制 災害時でも問題なく供給できる体制(代替設備、代替材料) サイバー攻撃に耐える情報セキュリティ対策	 
⑥ 労働安全衛生	安全衛生活動(新鮮組) 設備のオートメーション化(自動倉庫や自動搬送装置の導入)	     
⑦ ガバナンス	情報セキュリティの強化(情報漏洩防止)	 





5 組織力向上

AKI活動 - All KEIWA Innovation -

関連するSDGs



数十のチームが参加し、顧客満足向上へとつながるイノベーティブな活動を競いあう全社活動です。製造・営業・事務管理等、あらゆる部門からエントリーがあり、約半年かけて活動を推進します。特に社員の多くを占める製造部門では、毎年多数のチームが参加し、製造現場からお客様に価値を届ける数々の成果を創出しています。

AKI活動とは？

恵和グループのすべての人たちが、お客様の期待・要求に対し、それを上回る高品質製品や新製品、デリバリーの提供を考えて行うイノベーション活動です。**All KEIWA Innovation** の頭文字を取ってネーミングしていますが、以下の意味を含め活動に取り組んでいます。



基本。社員が安全である会社は顧客にも信頼され、顧客が安心して恵和に製品の供給が任される事にも繋がります。



お客様のことを考えて勉強し、活動の効果を正しく計算(理解)した上で行動することです。



イノベーティブな活動。新しい発想、行動により顧客としっかり結びついていくのが大切です。(単なる発明、思い付きの改善だけではイノベーションではない。)



AKI活動





5 組織力向上

AKI活動スケジュール

AKI活動は、6カ月を1サイクルとして進めています。(例:6月スタートの場合)

6月	7月	8月	9月	10月	11月
各部署エントリー (推進局が審査) 活動スタート	毎月月間報告会 (チーム活動へアドバイスなど)			部署発表会 (社内経営陣による評価、 優勝チームを表彰する)	全社発表会 (社外有識者による優勝し たチームの評価と表彰)

AKI活動の効果

AKI活動では、戦略適合性と効率効果を重視しているため、マーケティング部門の場合は、売上と限界利益により目標達成に直結しています。

工場の場合は、工程内の改善活動で、顧客志向を重視した品質管理体制の強化、製品歩留まり向上、新製品の開発へのサポート、および工場全体の省人化等々が実現しつつあります。

AKI活動によって、会社の健全な発展を維持し、当社の製品・サービス提供を通じて、積極的に地球と未来社会に貢献することができます。

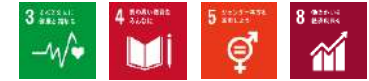




6 目標達成に向けた支援

教育支援体制

関連するSDGs



7つの重要テーマに取り組むための土台は人材です。

恵和では、社員一人ひとりが意図した結果を達成するために、また、エンプロイアビリティ(雇用され続ける能力)を高め、多様なステークホルダーの要望に応えるために、充実した教育支援により、誰もが活躍できる職場づくりを目指しています。

教育訓練プログラム(階層別研修、単元別研修、技術研修、OJT研修、語学力向上研修など)

恵和では、社員の成長を促す事が会社の業績向上につながると考えています。画一的な研修よりも、個人の成長課題にあった研修を提供していく事を目指しており、階層や抱えている課題に応じて集合研修や個別のオンライン研修など多数のプランを用意しています。

半年ごとに実施している上司との面談の際に、10年後のあるべき姿を考える「あすなるシート」というツールを使って成長課題の確認を行い、その人に合った内容の研修を受けることで、自ら描いた成長プランを実現できるような支援体制をとっております。

そうすることで、従業員の主体性を育みつつ、所属する組織が求める最大の成果が得られることを目指しています。

教育研修プログラム



6 目標達成に向けた支援

社内表彰制度(モチベーション、やる気)⇒MVP

恵和では、毎月、各本部長が特に会社に貢献したと思う人を候補者として推薦し、社長やその他役員が審議した上で決定しています。

会社の方針にコミットし貢献したことに感謝を込めて、表彰状とMVPバッジを贈呈しています。また受賞回数により、バッジの色が変わり、一回目の受賞では銅バッジ、二回目は銀バッジ、三回目は金バッジとなります。



銅バッジ
[一回目]

>>



銀バッジ
[二回目]

>>



金バッジ
[三回目]



トロフィー

働き方改革に対する取組み(フレキシブルな勤務体制、有給休暇を取得しやすい体制、女性の活躍推進)

男女の区別なく、誰もが活躍できる職場づくりを行うために、フレキシブルな勤務制度を導入しています。フレックスタイム制度や在宅勤務制度があり、仕事と家庭との調和を図りながら働くことができます。

また、有給休暇は1時間単位で細かく取得が可能のため、個々の事情に合わせ柔軟に使用することができます。有休奨励日の設定のほか、法律に基づく一般事業主行動計画にも有休取得促進を盛り込むなど、強力に有休取得を推進しています。

その他、子育て支援にも力をいれており、育児事由での離職を防ぐために、手厚いサポートができるように制度の整備を進めて参りました。例えば、育児事由での短時間勤務は、小学校3年生修了時まで取得可能です。現在は、男性の育児休業取得推進のために、個別に声掛けするなど活動を行っております。

このような取組みが地域社会でも評価され、和歌山県より子育て応援企業の事例として紹介されております。





7 CSV活動

新しい価値の創造

関連するSDGs



省エネルギーや脱炭素社会、命を守る社会インフラの長寿命化などの実現に貢献する様々な製品の提供により、社会と企業の共通価値を創造しています。

クリーンエネルギー資材

トヨタ自動車株式会社様の新型「MIRAI」に電池用部材として採用され、2020年7月から量産を開始しました。これからも、さまざまなクリーンエネルギーカーの普及拡大に貢献する製品の開発・販売拡大を目指します。



※イラストはイメージです

インフラ関連資材

コンクリート保護シート「KYÖZIN™」を様々な用途でテスト施工中です。また、2020年10月21日にNETIS(新技術情報提供システム)に登録されました。橋脚などの構造物をはじめとする各種インフラの老朽化、職人の不足といった社会的課題の解決に役立てられるよう、引き続き更なる用途拡大を目指しております。



KYÖZIN™

複合拡散板

これから普及の拡大が見込まれている、高性能ミニLED直下型液晶ディスプレイの部材として販売を開始しました。今後さらに搭載機種が増える見込みです。





7 CSV活動

高品質の提供

顧客志向を追求し、製品・サービスを社会に供給する企業の責任として、安全性や品質の確保を最優先することで、社会の信頼を獲得します。

関連するSDGs



品質方針

恵和は、顧客満足の向上を追求するために、**品質マネジメントシステム**を運用構築しています。

1.顧客満足

顧客や社会に求められている品質を正確に捉え、満足される商品を提供する。

2.法令順守

法令・規制要求事項及びその他の要求事項(顧客要求事項等)を遵守する。

3.品質向上

新鮮な視点で問題点を捉え、課題を決めその解決に向け迅速に行動する。

4.品質目標の達成

目標は明確に定め定期的な見直しを行う。目標達成のため執念をもって明るくやりきる。中途半端で終わらせない。

5.継続的改善

品質マネジメントシステムの有効性の継続的改善に努める。



IATF 16949認証書
(※和歌山テクノセンターII取得)



ISO 9001認証書





7

CSV活動

高品質を作り出す生産設備とプロ集団（IATF 16949、ISO 9001の運用）

高水準のクリーン環境の管理と生産現場への斬新な視点、執念を持った改善活動を通じ、高い生産品質を実現。お客様の安定した生産活動に貢献します。

世界最高水準の自動検査装置やクラス10,000以下のクリーンルーム、ISO 9001を取得した品質管理体制で、高い品質を維持。

さらに、車載向け光学シートでは、IATF 16949を認証取得しており、不良品発生の未然予防、製造工程のばらつきとムダの徹底的な排除を追求した品質管理体制を高め、お客様の信頼にお応えします。

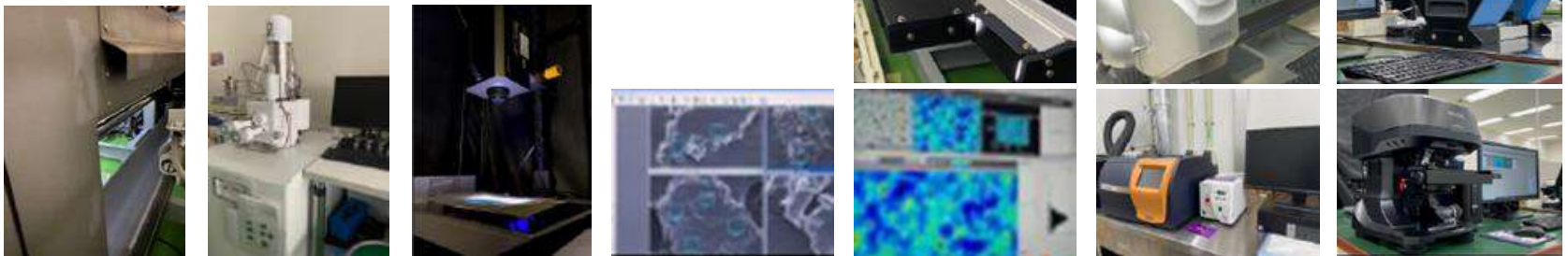
恵和が高品質な製品を提供することにより、お客様での製品組立工程における不良品の発生リスクを低減することが可能になります。



クリーンルーム

充実した検査設備・分析機器

お客様に高品質の製品をご提供するために、恵和では、世界最高水準の自動検査機検査による徹底した品質管理や、様々な分析装置やニーズや製品に合わせた試験機器を用いた製品開発を行っています。



各種 試験機器/検査機器





7 CSV活動

環境汚染防止・環境負荷低減

関連するSDGs



限られた地球資源のなかで持続可能な社会を形成していくために、環境法規の遵守はもとより、あらゆる事業活動において環境との関わりを認識し、環境への負荷を低減するとともに生物多様性を保全します。

環境方針

恵和は、環境保全に貢献するために、**環境マネジメントシステム**を運用構築しています。

1.持続可能な社会の実現

エネルギー使用量の削減、歩留り改善による廃棄物削減及び、環境汚染防止に努め、環境に配慮した製品を提供します。

2.法令順守

環境に関する法規制及びその他の要求事項(地方条例、地域との協定、自治体の指導事項、顧客要求事項など)を順守します。

3.社会貢献

地域の環境保全活動に積極的に参画し、地球環境改善に貢献します。

4.継続的改善

生産活動、製品及びサービスが環境に及ぼす影響を認識し、環境目標の設定を行い改善活動を実施します。また、内部監査及びマネジメントレビューを定期的に行うことによって、環境マネジメントシステムを見直し、継続的改善を図ります。

5.環境教育・啓発活動

環境方針の周知、訓練、個人目標管理、改善活動を通じて、従業員一人一人の環境保全に対する意識の向上を図ります。



ISO 14001認証書





7 CSV活動

産廃の削減、リサイクル推進（ISO 14001の運用）

恵和は、製品開発時には廃棄ロスを最小限に抑えた設計を行い、製造時に出てしまう廃棄物の抑制やリサイクルを推進しています。環境負荷の低減に向けて、より一層の削減への取組みを行ってまいります。

和歌山テクノセンター
1年間で
前年比**1%**の廃液削減！
(2021年1月末時点)

和歌山テクノセンター
1年間で
前年比**1%**の廃プラスチック削減！
(2021年1月末時点)



再生可能エネルギーの転換



太陽光発電などの再生可能エネルギーの転換を推進しています。再生可能エネルギーを使用することにより温室効果ガスの排出を抑制することにより持続可能な社会の発展に貢献しています。

2020年の
再生可能エネルギー
CO₂に換算すると、
およそ**300トン**！

2021年の目標は、
1,700トン以上！

参考URL <https://www.env.go.jp/press/files/jp/115373>





7 CSV活動

グリーン調達

恵和は、「自然と産業の調和を創造する」を経営理念に、その一環として環境負荷の少ない材料の調達を推進しています。また、サプライヤー様に対して「評価表」を基に、環境負荷低減への活動にご協力頂いています。

取引先様評価表

右記の7テーマ(労働・人権・安全衛生・環境・倫理・サプライヤー・BCP)について、サプライヤー様に自己評価をお願いしています。



項目	番号	調査内容	選択説明
労働	1	従業員の労働時間を管理するシステムがあるか？	1.はい 2.いいえ
	2	従業員に最低賃金以上の賃金を支払うシステムがあるか？	1.はい 2.いいえ
	3	時間外労働には、時間外手当を支払うシステムがあるか？	1.はい 2.いいえ
	4	賃金は、労働時間の終了後30日以内に支払われているか？	1.はい 2.いいえ
人権	5	従業員を、年齢、障害の有無、民族、性別、人種、宗教等で、不当に差別しないことを決めているか？	1.はい 2.いいえ
	6	強制労働や人身売買を禁止することを決めているか？	1.はい 2.いいえ
	7	ハラスメントや不当な扱いを禁止することを決めているか？	1.はい 2.いいえ
	8	内部告発システムはあるか？	1.はい 2.いいえ
安全衛生	9	安全衛生管理について定めた規定類はあるか？	1.はい 2.いいえ
	10	労働安全衛生上のリスクアセスメントを行っているか？	1.はい 2.いいえ
	11	危険にさらされる作業をする作業者には、保護具を提供しているか？	1.はい 2.いいえ 3.非該当
	12	労働災害発生時に、原因特定、是正措置、予防措置を行う手順があるか？	1.はい 2.いいえ
環境	13	大気汚染物質を特定し、排出基準を守っているか？	1.はい 2.いいえ 3.非該当
	14	廃水物質を特定し、排出基準を守っているか？	1.はい 2.いいえ 3.非該当
	15	廃棄物は適切に管理し、処理又は処理委託を行っているか？	1.はい 2.いいえ 3.非該当
	16	環境事故等発生時に、原因特定、是正措置、予防措置を行う手順があるか？	1.はい 2.いいえ 3.非該当
倫理	17	倫理又は行動規範を明記した文章はあるか？	1.はい 2.いいえ
サプライヤー	18	サプライヤーに対して、労働、人権、安全衛生、環境の法令遵守状況を定期的に確認しているか？	1.はい 2.いいえ 3.非該当
BCP	19	災害や事故など不測の事態を想定し、事業継続計画書を作成しているか？	1.はい 2.いいえ





7 CSV活動

労働安全衛生

関連するSDGs



安心して働ける職場環境を整備するとともに、緊急時における従業員の安全を確保します。

労働安全衛生方針

恵和は、労働安全衛生に貢献するために、労働安全衛生マネジメントに取り組んでいます。

1.差別の禁止

あらゆる企業活動において、人種、信条、性別、年齢、社会的身分、門地、国籍、民族、宗教または障がいの有無などの理由による差別をしないことを約束します。

2.強制労働・ハラスメントの禁止

いかなる種類の強制労働も行わないこと、また、虐待や各種ハラスメント(嫌がらせ)などの過酷で非人道的な扱いを行わないことを約束します。

3.未成年者不法就労防止と児童労働禁止

各国の最低年齢法と要求を遵守し、未成年者不法就労と児童労働を行わないことを約束します。

4.労働基準に関する法令の遵守

労働時間や賃金等の労働基準に関する各国・各地域の法令等の遵守に努めます。

5.結社の自由と団体交渉の尊重

結社の自由と団体交渉権の権利を各国・各地域の法令等に従い尊重します。

6.安全で働きやすい職場環境の確保

安心して働ける職場環境を整備するとともに、緊急時における従業員の安全を確保することを約束します。

7.公平な機会の提供

従業員は恵和にとってかけがえのない財産であると考え、その限りない可能性を発揮する機会と能力を向上させる機会を提供するため、従業員一人ひとりの多様性、人格、個性、人権を尊重し、能力に応じた機会を公平に提供することを約束します。





7 CSV活動

リスクアセスメント

当社独自のリスクアセスメント評価方法を定め、設備面・作業面のリスク低減措置を実施しております。作業面では、決めたルールが遵守できているかパトロールを実施。また、設備対策が機能しているか、作業者が点検を実施しております。



パトロール

対策状況	対策level
未対策	1
教育	2
注意喚起	3
遵守確認	4
設備対策	5
機能点検	5.5
解除不能	6
管理点検	7
一括管理	8
烏カゴ	9
無人化	10

■ 評価方法

重篤度・作業頻度よりリスクを見積もり、リスクレベルを評価。さらに、そのリスクが、どこまで対策できているか評価し、対策level(左記参照)を決定の上、半期で目標を立て対策を実行しております。

設備のオートメーション化

自動倉庫、無人搬送機などを導入し、可能な限り、人の作業が介在しない仕組みを構築しています。これにより、安全・クリーン度の維持向上にもつながっています。



自動倉庫





7

CSV活動

安全衛生活動(新鮮組)

従業員が笑顔で元気に出社し元気に退社する。そんな当たり前の日々を継続するために、心身ともに健康で、働きやすい安全な職場環境づくりに取り組んでいます。女性メンバーで「新鮮組」を結成し、安全パトロールや安全教育の他、3S(新鮮・執念・SMILE)をモットーにさまざまな活動を実施しています。

Shinsen
新鮮

【安全パトロール】

生産・設備の知識がほとんどないメンバーで新鮮組を発足しました。“知らない事を強みに”、その良さを活用し、新鮮組文字通り、フレッシュな目線で従業員の動作や危険箇所にて特化したパトロールを実施しております。
良い行動や活動も見ており、現場とのコミュニケーションを深め、他工程へ共有しています。



Syuunen
執念

【安全教育】

設備対策だけでなく、人へのアプローチによる安全活動も執念を持って実施しており、毎月1回、様々な安全テーマで従業員へ安全教育を実施しています。教育時に理解度テストを行っており、一人一人の安全意識を深めています。また、理解度テストでは、従業員からの意見をヒアリングし、今後の安全活動へ活かしています。

はじめに・・・

安全最優先 がこの会社の大切なルールです。

・今までに見たことのない設備
・やったことのない作業

危険がいっぱい

危険から身を守るには・・・

- ①安全に対する知識をつける
- ②工程のルールを知る(守る)
- ③心に余裕をもつ

安全教育資料



7 CSV活動

Smile スマイル

【安全の見える化】

実施した安全活動を従業員に共有するために、活動内容をわかりやすくまとめた安全活動板を毎月更新し、食堂など従業員が必ず通る場所に設置しています。
このように「見える化」の工夫をすることで、実際に多くの従業員が足を止め、活動に興味を持つことができます。



Smile スマイル

【安全向上活動】

「新鮮組」の活動内容は、毎月開催される安全衛生委員会で報告しています。そこで得られたアドバイスや安全パトロールでの指摘事項をもとに、工場内の危険個所の改善や、工程内の不便を解消できるよう提案し、改善を進めています。

安全パトロールでの発見

屋内にて、精密作業をする場合は300ルクス以上の明るさ（照明）が必要です！

限度基準はJIS規格に基づき、照明設備の管理標準の設定を求められる

エネルギーの効率的利用のため、減光または調灯の移行、および過剰設置の回避



照度が気になる場所を調べてみよう！

「火災」への備えについて活動中

本部への連絡誘導（お客様向け）

「緊急時のご案内」を作成。WTC1北棟室・会議室に掲示しました。

新設スリッパも途中に設置予定！



会議室

応接室

安全パトロールで気づいたこと

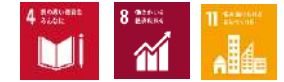
アドバイスを受け、テーマを設けて活動



7 CSV活動

地域貢献活動

関連するSDGs



恵和は、学校への支援活動や、BCP策定により緊急時にサポートできる体制を構築することで、社会に貢献しています。

災害対策（BCP構築）

和歌山テクノセンターでは、危機の発生に際し、次の目的を達成および維持するものとします。

- ・従業員やその家族を守り、負傷者、犠牲者を出さない。
- ・自社の災害を最小限にとどめ、速やかに復旧する。

危機（緊急事態）の発生とは、

- ・大雨・暴風（台風） *気象庁及び和歌山県で特別警報が発表された場合
- ・サイバー攻撃 *停電、天災などによる障害が発生した場合
- ・感染症・伝染病 *政府、地方自治体より発令がある場合
- ・食中毒（ノロウィルス・O157等） *嘔吐などの症状があり、医療機関、保健所などで 集団食中毒と指定された場合
- ・原材料の不足 *原材料メーカーが緊急事態に陥った場合

等です。

緊急事態が発生した場合、緊急対策チームによる対応に当たります。
上記の緊急事態に備え、全従業員を対象に年2回、対応訓練を実施しております。

自然災害や大規模な交通の寸断等により、帰宅が困難となった従業員および会社ご来場者様等に提供するための食糧・水・寝具等を備蓄しております。



避難訓練・BCP訓練



7 CSV活動

職場体験・工場見学

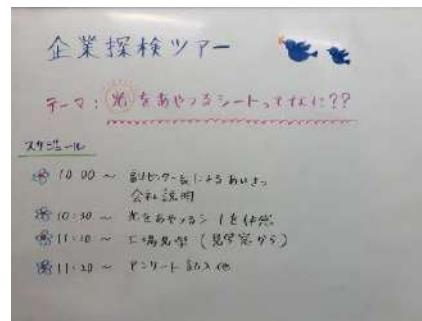
和歌山テクノセンターでは、地元の小学生・中学生・高校生を対象に、職場体験・工場見学を実施しております。

小学生へは、保護者様と一緒に、和歌山県日高地方にて開催される「親子で企業探検ツアー」を通して当社へご来場いただいております。「光をあやつるシートってなんだろう？」をテーマに、最終製品を分解し、実際に当社で生産している製品に触れて頂きながら、製品の用途や生産方法等をご紹介しております。

開催時、ご出席された皆様にはアンケートにご協力頂いております。小学生も保護者の皆様も、実際に分解した最終製品の中身を見ることができ、当社の製品に触れたことが楽しかったとの回答を頂戴しております。普段の生活では直接見ることができない製品ですので、このような機会にぜひお越しいただけますと幸いです。

中学生には、職場体験にお越し頂いており、過去には当社の試験業務を体験頂いております。

高校生へは、当社へお越しいただき、主に製品紹介、用途や生産方法等をご紹介しております。また、和歌山県経営者協会や日高振興局地域振興部にて開催される合同企業説明会や、最近では、webでの企業説明会にて、当社の製品等をご紹介しております。企業説明会は、卒業生(OB)も出席しますので、先輩の声をお聞きいただけ、より身近に感じていただけることと思います。



企業探検ツアー(小学生向け)



ガバナンス

関連するSDGs



恵和は、多様なステークホルダーの皆さまの期待に応えるために、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化を、CSV活動を推進するうえで、重要な位置づけと考えています。

情報セキュリティの強化（情報漏洩防止）

お取引先様や当社の機密情報などが流出することのないよう、情報セキュリティの強化に不断の努力を以て計画的に取り組んでいます。



■ 3ヶ年計画

1年目

現状把握

専門業者によるセキュリティアセスメントを実施。セキュリティレベルの底上げのため、リスクが高い対策、当社にとって重要な対策から優先的に実施。

2年目

仮運用

セキュリティ方針やリスク情報の分類等、当社のセキュリティ基準に基づき対策の必要があるものを対応する。

3~4年目

本運用

当社における標準的なリスクに対応する。
(=あるべき姿)

リスクアセスメント実施





8 実績評価

内部監査(マネジメントシステム監査)

関連するSDGs

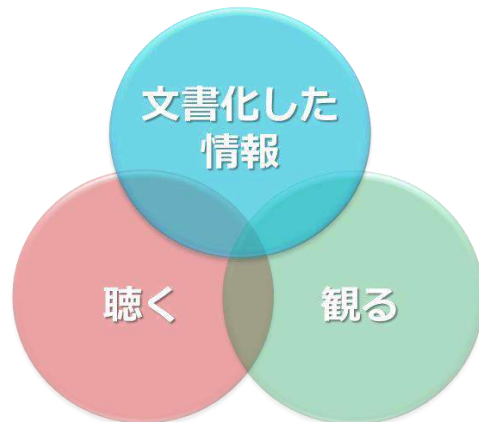


恵和のCSV活動をより確かなものにするための振り返り(有効性評価)を実施します。情報に左右されない、判断のよりどころを構築し、組織の価値向上につなげる監査を実現しています。

恵和の内部監査(マネジメントシステム監査)とは？

恵和が、高品質な製品を作り続けることができるのは、内部の眼による確かな評価の賜物です。外部講師による、ISO 9001/ISO 14001/IATF 16949 の内部監査員教育を受講した精鋭による内部監査は、気づきと改善を促す貴重な時間になっています。

情報に左右されない思考力と、情報の有効性を評価する判断力を養うことで、自身の言動に根拠が生まれ、判断のよりどころの確立に繋がります。



監査証拠

内部監査は検証活動の繰り返しです。一人ひとりの仕事が、意図した結果を達成することへと繋がっているかを監査基準から判定し、監査証拠を収集し、それを客観的に評価します。

ISO9001/ISO 14001/IATF 16949の各規格要求事項を理解し、3つの監査証拠を正確に捉えることで、高いレベルでの内部監査を実施することができ、継続的改善を加速させています。



内部監査員教育

